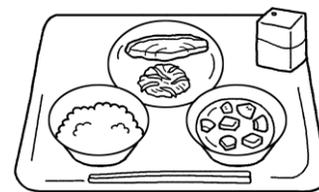


1月給食たより

令和7年1月
奥多摩町学校給食センター

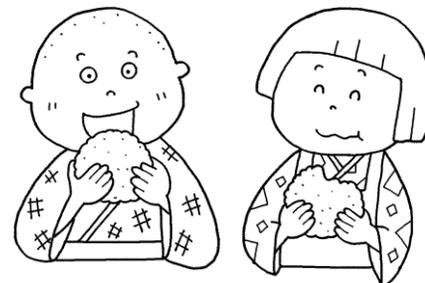


あたらし とし むか
新しい年を迎えました。みなさんはどんな冬休みをすごしていらっしゃいましたか？さて、1月
24日から1月30日までは、全国学校給食週間です。いつも食べている給食に目
を向けて、給食の役割について考えてみましょう。



日本の学校給食

日本の学校給食は、明治22年（1889年）に山形県の私立忠愛小学校で、貧しくて昼食を用意できない子どものために、無償で提供されたのが始まりといわれています。その後、戦争などで一時中断しましたが、第二次世界大戦後に再開されました。現在の給食は、栄養バランスのよい食事で成長期にある子どもたちの健やかな成長を支え、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。



学校給食の献立の移りかわり

明治22年	昭和22年	昭和25年	昭和40年	昭和52年
<p>おにぎり・塩さけ・菜の漬物</p>	<p>ミルク・トマトシチュー</p>	<p>コッペパン・ミルク（脱脂粉乳）・ポタージュスープ・コロッケ・せんきゃべつ・マーガリン</p>	<p>ソフトめんのカレーあんかけ・牛乳・甘酢あえ・果物（黄桃）・チーズ</p>	<p>カレーライス・牛乳・塩もみ・果物（バナナ）・スープ</p>

※献立の内容は、独立行政法人日本スポーツ振興センターの献立レプリカを参考にしています。



おせち料理のいわれ

正月に食べるおせち料理には、健康や長寿などの祈りが込められています。

<p>数の子</p> <p>数の子は、にしの卵です。卵が多いことから、子孫繁栄の願いが込められています。</p>	<p>黒豆</p> <p>まめは、まめに働き（勤勉）、まめに生きる（健康）という願いがあります。</p>	<p>こぶ巻き</p> <p>昔は「ひろめ」と呼ばれ祝儀に用いられ、また、「喜ぶ」の言葉にかけた縁起物です。</p>	<p>きんとん</p> <p>きんとん（金団）には、財宝などの意味があります。金運への願いが込められています。</p>	<p>田づくり</p> <p>たんぼにこいわしの肥料をまいたことから、田づくりと呼ばれ、豊作の願いがあります。</p>
---	---	---	--	--



1月は、古里小6年生が考えてくれたメニューを給食で出します。
9日（木）、21日（火）、23日（木）です。楽しみにしていてください！